

思い熱き“再生請負人”④

被災ホテルのリニューアルへ
現地と奈良つなぎ長期支援を。

被災地を支援するプロジェクトも構想されているとか

川井 懇意にしていたら、いっている駒澤大学の飯田泰之・准教授に、「被災地を視察して被災地支援を一緒にしませんか」とお誘いいただいた。東日本大震災が起こった昨年3月11日は東京にいて、人ごととは思えなかった。

震災後、どの被災地にいらっしやったのですか
川井 昨年5月に数人で岩手県へ行きました。当時からまだ孤立した世帯が残っていて、大変な状況でした。被災者が、自ら配食サービスを行っている料理人とか、お酒や食料、歌の空間をつくってイベントをやっている方々がおり、「いわて三陸復興食堂」というのですが、何を感しましたか

かわい のりこ
ノブレスグループ代表 川井徳子さん

川井 誰もやってきくはず、自分たちで何とかしなければならぬ時期が長かったからこうなったと思うのですが、セルフヘルプが重要だと思いました。危機をいかに生き抜くのか。地震国・日本において、この何日間かの記録は大切な記録だ

川井 誰もやってきくはず、自分たちで何とかしなければならぬ時期が長かったからこうなったと思うのですが、セルフヘルプが重要だと思いました。危機をいかに生き抜くのか。地震国・日本において、この何日間かの記録は大切な記録だ

川井 誰もやってきくはず、自分たちで何とかしなければならぬ時期が長かったからこうなったと思うのですが、セルフヘルプが重要だと思いました。危機をいかに生き抜くのか。地震国・日本において、この何日間かの記録は大切な記録だ



(松永渉平撮影)

新 関西談 笑

ができません。何年か訓練して現地に戻れば、いい料亭ができるのではないかと思います。

ほかにどんなことを計画されていますか

川井 ある自治体から土地の有効活用の相談があり、メガソーラーの建設を計画しています。被災地で原発の問題も身近に感じました。日本が直面している課題にどう対応するか。自分たちで提案し、事業化することが大切だと思います。

複数の事業者から見積もりをいただいて、どれくらい採算性があるのか、収支計算をしているところで

本当に、いろいろなことに取り組んでいるのですね

川井 誰が取り組むか。取り組むことのできる人は限られています。できる人がやっていくことが大事だと思います。

(聞き手 中島高幸)

おわり

川井 被災地の高校を卒業した方々を中心に、研修を受け入れる。高度なサービスやマネジメントについて、京都の一流料亭や有名レストランで練習すること

次回はプロ野球オリックス新監督の森脇浩司さんです。

